

2026 年度事業計画

I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

1. こども・若者未来基金

- ① こども・若者未来基金による、自立のおうえんを継続します。
- ② 自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設、里親家庭などつながりのある子ども若者を、伴走者（支援者）とともに支援していきます。
- ③ 8月に、こども・若者未来基金の募集要項を、児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、中核地域生活支援センター、生活困窮者自立支援相談機関、児童相談所等へ送付し、9月15日から11月15日まで、申請を受け付けます。
- ④ こども・若者未来基金の寄付募集目標は、10,000,000円とします。
- ⑤ こども・若者未来基金の趣旨に賛同いただいている県内3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）や他団体と情報を共有し、それぞれの団体に合った方法で寄付を呼びかけます。
- ⑥ 「こども・若者未来基金」の周知のため10月、11月にシンポジウムを開催します。
- ⑦ クラウドファンディングも活用し、周知を進めます。
- ⑧ ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス月に寄付を呼びかけます。また、シンポジウムなどの際に呼びかけをします。
- ⑨ 5/23（土）に「こども・若者未来基金 2025 報告会」を開催します。
- ⑩ 8月第1日曜日（2026年8月2日）に基金交流会を開催します。

2. 食料衛生用品支援

基金でつながった子ども・若者への食料衛生用品支援を実施します（7月・12月）。

3. 就労支援

就労支援、居住支援について、関係機関と連携をしていきます。

II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

1. ちば子ども虐待防止研究会（通称 JaSPCAN ちば）（2017 年度虐待防止学会ちば大会実行委員会を中心とする団体）等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
2027年11月21日～22日 日本子ども虐待防止学会第33回学術集会ちば大会実行委員会へ参加します。
2. 千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、啓発のイベントを実施します。
11月1日 第10回ちばこどもおうえん広場・第1回こども虐待防止オレンジリボンたすきリレーちば虐待防止実行委員会へ参加します。

III. 里親家庭支援について

1. 千葉県・千葉市の里親関連の事業にも積極的に応募や参加し関わっていきます。

2. 「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況把握、また関係機関や他団体との情報共有を進めます。

IV. 啓発・広報事業

1. 啓発事業

- ① 社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。
- ② 児童虐待防止に関する啓発活動に参加します。

2. 広報事業

- ① ニュースレターや SNS での情報発信を通じて、ちばこどもおうえんだんの活動や情報を社会へ広く伝えます。
- ② ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）の機関紙等を通じて、組合員に向け、ちばこどもおうえんだんの活動について知らせます。

V. 調査研究活動事業

1. 社会的養護関係者フォーラム事務局機能を継続します。
2. 2017年度からこれまで給付した若者への追跡調査を実施します。

VI. その他

1. 「パルシステム給付型奨学金」に推薦した学生の伴走支援をします。施設職員と連携を取りながら、おうえんだんスタッフ複数体制で対応します。
2. NPO 法人ちばホスピスプロジェクトの事務事業受託を継続します。
3. 「こども・若者未来基金」と首都圏若者サポートネットワークとの事業統合について検討します

VII. 組織運営

1. 運営体制

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年4回（4月・7月・11月・2月を予定）

こども・若者未来基金運営委員会：おおむね2月に1回程度

こども・若者未来基金生協実務者会議：4回程度

2. 会員拡大について

- ① 認定 NPO として 3,000 円以上の寄付者（おうえん会員=賛助会員を含む）が年平均 100 人以上になるように会員の継続を促し、新たな会員の入会を目指します。
- ② 寄付者の寄付控除について、周知を図ります。

【目標・実績数】

		目標		実績		
				2025 年度会費納入済み会員		会員総数
		人数・団体数	口数	人数・団体数	口数	人数・団体数
運営会員	個人	16 人	20 口	9 人	10 口	10 人
	団体	5 団体	54 口	4 団体	53 口	5 団体
おうえん会員	個人	160 人	180 口	118 人	182 口	137 人
	団体	10 団体	12 口	5 団体	7 口	6 団体